

Brava Desktop License Manager

管理者ガイド

株式会社オーシャンブリッジ

対象バージョン : Brava Desktop License Manager 1.16.6.20

更新日 : 2019 年 6 月 13 日



目次

Brava Desktop License Manager 概要	3
ライセンスマネージャについて.....	3
ライセンスマネージャの構成.....	3
動作環境.....	4
セットアップについて.....	4
ライセンスマネージャ導入の流れ.....	5
Brava Desktop 導入の流れ.....	5
設定方法	6
インストールと初期設定.....	6
ライセンスファイルの取得.....	6
ライセンスマネージャのインストール.....	7
ライセンスマネージャの初期設定.....	10
ライセンスの管理.....	13
ライセンスの登録と削除.....	13
クライアント PC へのライセンス配布.....	14
ライセンスの認証方法.....	15
ライセンス使用状況の確認.....	18
シート使用状況の確認.....	20
リモート管理.....	21
リモート管理ユーザー情報の登録.....	21
ライセンスマネージャへのリモート接続.....	22
ライセンスマネージャのアンインストール.....	24

BRAVA DESKTOP LICENSE MANAGER 概要

ライセンスマネージャについて

ネットワークライセンスを適用した Brava Desktop を管理する方法を説明します。

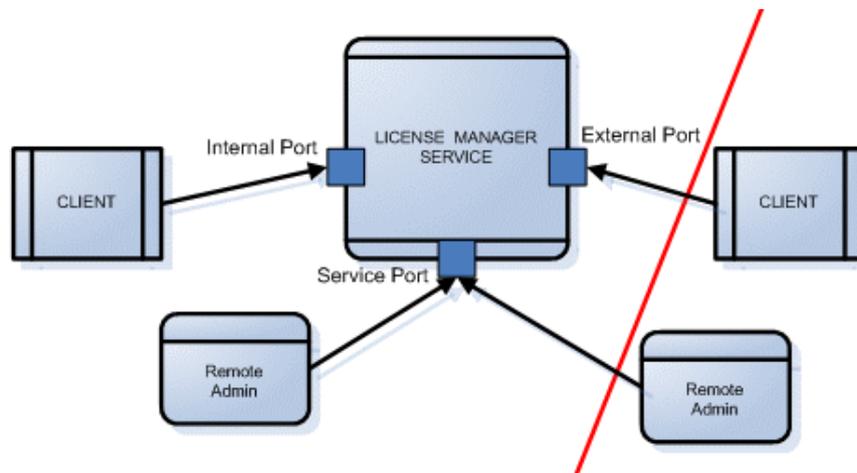
本ガイドでは、クライアントソフト「Brava Desktop 16.4 ネットワークライセンス」のライセンスを管理するライセンスマネージャ「Brava! Desktop License Manager 1.16」（以下、ライセンスマネージャと記載）の導入方法について記載しています。

ライセンスマネージャは、ローカルネットワーク環境内において各種クライアントアプリケーションのライセンス管理を行うためのプログラムです。

ライセンスマネージャの構成

下記の構成図はライセンスマネージャ用サービスが必要とするポートを示しています。

ライセンスマネージャへのアクセスにはリモート管理 PC はサービスポートを、Brava Desktop は内部または外部ポートを使用します。ファイアウォールの外部からライセンスマネージャサービスに接続する場合は、サービスポートと外部ポートに対するアクセス許可を設定する必要があります。



動作環境

Brava Desktop License Manager 1.16(ver.1.16.4.22)の動作環境は以下の通りです。

OS	<ul style="list-style-type: none">• Windows Server 2016• Windows Server 2012/2012 R2• Windows Server 2008 R2 SP1
スペック	<ul style="list-style-type: none">• CPU：利用する OS の推奨スペック以上推奨• メモリ：1.0GB 以上 推奨• ハードディスク空き容量：製品インストールに 250MB 以上
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none">• TCP 8400 番ポート：クライアントマシンとの通信用（※必須）• TCP 8208 番ポート：リモート管理用（※リモート管理を行う場合のみ）

本プログラムで管理できる Brava Desktop ライセンスのバージョンは以下の通りです。

- Brava Desktop 16.4 (ver.16.4.0.112)

Brava Desktop License Manager 1.16 や Brava Desktop の動作環境に関する最新情報は、下記をご確認ください。

▼動作環境

<https://www.bravaviewer.jp/support/bd/requirements.html>

セットアップについて

本ガイドでは、ライセンス管理ソフトとして「Brava Desktop License Manager 1.16」を用いて「Brava Desktop 16.4」のライセンスを管理する方法を説明します。

ネットワークライセンスの利用環境を構築するには、サーバーへの「Brava Desktop License Manager 1.16」インストールおよびクライアント PC への「Brava Desktop 16.4」インストールが必要です。

ライセンスマネージャ導入の流れ

1. 購入したネットワークライセンス用のライセンスファイルを取得します
2. ライセンスマネージャをサーバーへインストールします
3. 取得したライセンスファイル (IGCKey.lic) を使用し、ライセンス情報をインポートします
本ライセンスファイルは、Brava Desktop をインストールする際も使用します
ライセンスマネージャのリモート管理を行う場合、リモート管理のユーザー情報も登録します
4. ファイアウォールが動作している場合、ライセンス管理用サービスが使用するポートに対して、接続を許可する規則を追加します

BRAVA DESKTOP 導入の流れ

1. Brava Desktop をインストールするクライアント PC にインストールプログラム (EXE ファイルまたは MSI ファイル) と取得したライセンスファイルを配布します
2. Brava Desktop をインストールします
3. Brava Desktop を起動し、購入モデルがサポートしているファイルを開けるか確認します

設定方法

インストールと初期設定

ライセンスマネージャのセットアップは簡単です。プログラムインストール後にライセンスファイルをインポートすれば、すぐに使用開始できます。

ファイアウォールを経由してクライアント PC の認証処理やリモート管理 PC からライセンスマネージャへの接続を許可する場合は、ファイアウォールを越えてライセンスマネージャサービスにアクセスできるよう別途設定する必要があります。

ライセンスマネージャを使用するには、以下の順にセットアップを行います。

- (1) ライセンスファイルの取得
- (2) ライセンスマネージャのインストール
- (3) ライセンスマネージャの初期設定

ライセンスファイルの取得

はじめに、購入したライセンス分のライセンスファイルを取得します。

ネットワークライセンスの場合は、購入モデル 1 ライセンス分につき 1 つ発行されるライセンスファイル (IGCKey.lic) をライセンスマネージャと Brava Desktop 16.4 それぞれのプログラムインストール時に適用することによって製品版として動作します。

ライセンスファイルの初回発行を行う場合は、メールにて以下の情報を明記して技術サポート窓口 (bdt-support@oceanbridge.jp) へ依頼してください。

件名	「Brava Desktop 16.4 ネットワークライセンス 新規発行依頼」 ※バージョンアップ時には下記件名でお申込みください 「 Brava Desktop 16.4 ネットワークライセンス アップデート依頼」
本文	次の情報を明記してください ・ 購入製品の PIN Number (例 : IGC123456, IGC460001) ・ ライセンスマネージャインストール先のコンピュータ名または IPv4 アドレス ・ 使用する Brava Desktop バージョン (16.4)

注意点：

- ライセンスの新規発行（再発行）は、製品開発元である OpenText 社（カナダ）での手続きが必要です。そのため、時差の影響により発行完了までに 2～3 営業日かかる場合があります。
- ネットワークライセンスのライセンス認証は、Brava Desktop の起動時やファイルを読み込むたびに行われます。ライセンスマネージャサーバーに対して毎回接続する仕組みのため、サーバーとの間で常に通信できる環境でないと、Brava Desktop を使用できません。
クライアント PC・サーバー間の通信に用いる宛先情報としてライセンスマネージャインストール先サーバー（ライセンスマネージャサーバー）のコンピュータ名または IPv4 アドレスをライセンスファイルに登録します。

ライセンスマネージャのインストール

ライセンスファイルを入手したら、ライセンスマネージャをインストールします。

ライセンスマネージャをインストールする前に、以下の点について事前に確認してください。

- Windows の「UAC」（ユーザーアカウント制御）は無効にします。詳しい設定手順は、Microsoft 社のサポートページなどをご参照ください。
- ファイアウォールを有効にしている場合は、TCP8400 番ポートおよび TCP8208 番ポートへの接続を許可する設定を登録してください。
- セキュリティソフトが稼働している場合は一時的に無効化します。
- ライセンスマネージャを管理するための管理者権限を持つユーザーアカウントを一つ用意します。定期的にパスワード変更を必要とするユーザーを使用する場合、サービスのログオンアカウントを変更している場合、その都度パスワード更新が必要になるので、ご注意ください。
本製品のインストールからサービスのインストール、ライセンス情報の登録処理など一連のセットアップ作業は同一ユーザーアカウントを使用して実行してください。

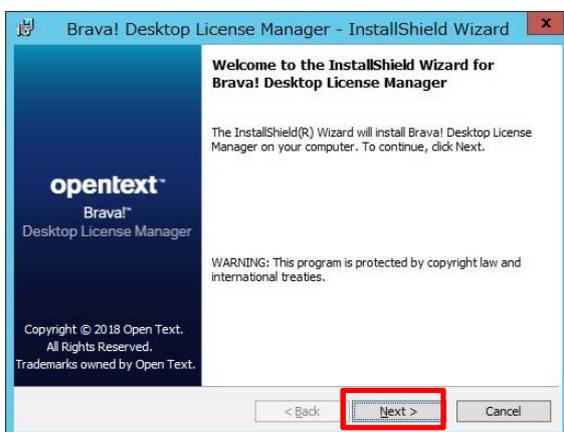
ライセンスマネージャのインストール手順を説明します。

1. ライセンスマネージャのインストールプログラムを下記 URL からダウンロードします

https://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BDLicenseManager_1-16-6-20.exe

2. ダウンロードしたインストールプログラムを管理者権限で実行する形で実行し、インストール画面を起動します

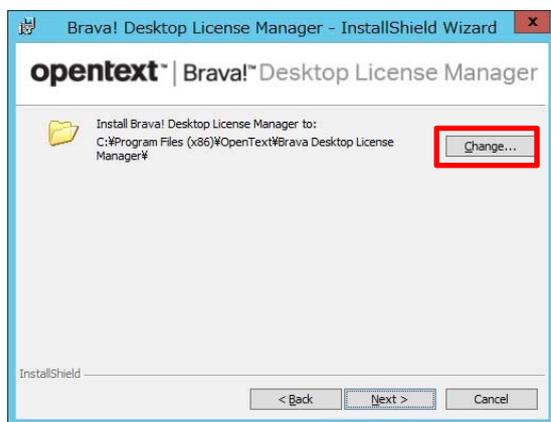
3. 「Welcome to the InstallShield Wizard for Brava! Desktop License Manager」画面が表示されたら、[Next]ボタンをクリックします



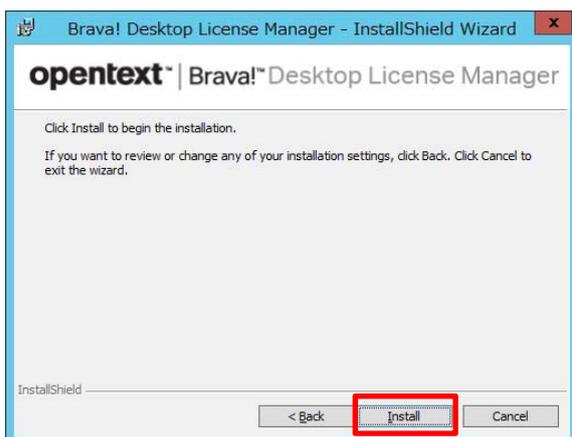
4. 「OpenText End User License Agreement」画面が表示されたら、「I accept the terms in the license agreement」を選択し、[Next]ボタンをクリックします



5. 「Install Brava! Desktop License Manager To」画面が表示されたら、インストールフォルダを確認してから[Next]ボタンをクリックします（既定値のままインストールすることを推奨）

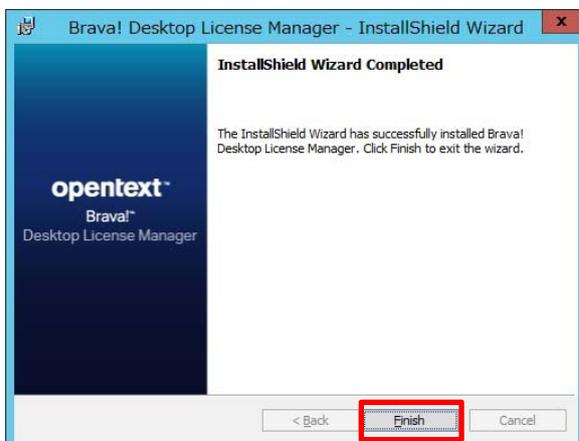


6. 「Click Install to begin the installation」画面が表示されたら、[Install]ボタンをクリックします



7. インストール処理が開始されます

「InstallShield Wizard Completed」画面が表示されたら、[Finish]ボタンをクリックします



ライセンスマネージャの初期設定

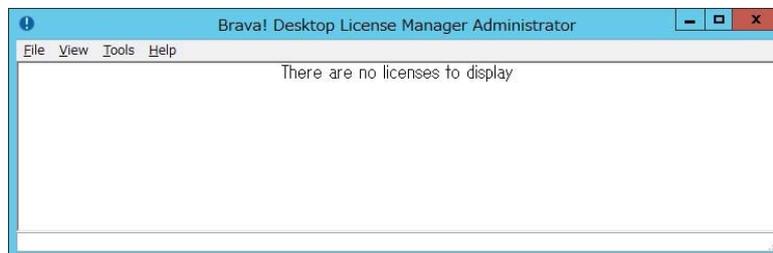
ライセンスマネージャをインストールしたら、次にライセンス管理用サービスのインストールおよびライセンスファイルのインポート（登録処理）を行います。

1. Windows のスタートメニューのアプリにある[Brava! Desktop License Manager]を右クリックしてから「管理者として実行」をクリックすることで、「Brava! Desktop License Manager Administrator（ライセンスマネージャアドミニストレーター）」画面（以下、管理画面と記載）を起動します。



※上記画面は、Brava Desktop License Manager サービスに未接続の状態であることを示しています。

2. 管理画面メニューの[Tools]–[Service]–[Install Service]を選択すると、ライセンスマネージャ管理用プログラムが Windows サービスとして自動的にインストールされます。サービスのインストールが完了すると、管理画面は下記画面（ライセンス未登録の状態）に表示状態が切り替わります。



管理用サービスのインストール後は、管理画面を起動すると自動的に本サービスに接続されます。本管理画面では、本サービスに対する接続・切断、開始・終了の操作やサービスのインストール・アンインストールなどを実行することができます。

注意：リモート管理用のポート番号（既定値は 8208）は管理画面メニューの[Tools] – [Communication Setup]で変更できます。ただし、サービスに接続している間、本ポート番号を変更できません。また、ライセンスマネージャが使用する TCP ポートは、他アプリケーションと競合しないよう注意してください。

3. インストールしたサービスの「スタートアップの種類」を初期値から変更します。

- (1) Windows の「管理ツール」から「サービス」をクリックし、サービス一覧を表示します
- (2) サービス名「Brava Desktop License Manager」のプロパティを表示し、「全般」タブを表示します
- (3) 「スタートアップの種類」欄の選択肢を「自動（遅延開始）」に変更します



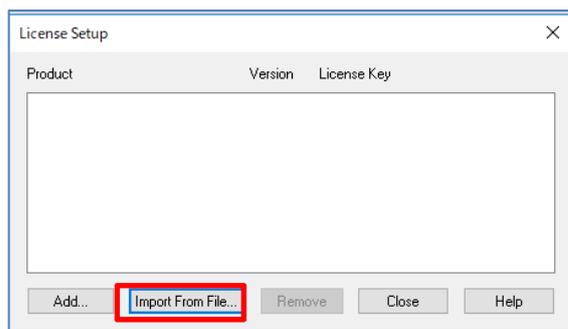
(4) [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます

4. 管理画面メニューの [Tools] – [License Setup]をクリックして License Setup 画面（ライセンス情報の登録画面）を表示します。

本設定画面で購入したライセンス情報の登録処理を行います。ライセンスの登録手順には、二通りの方法をご用意しており、どちらの方法からでもライセンス情報を登録できます

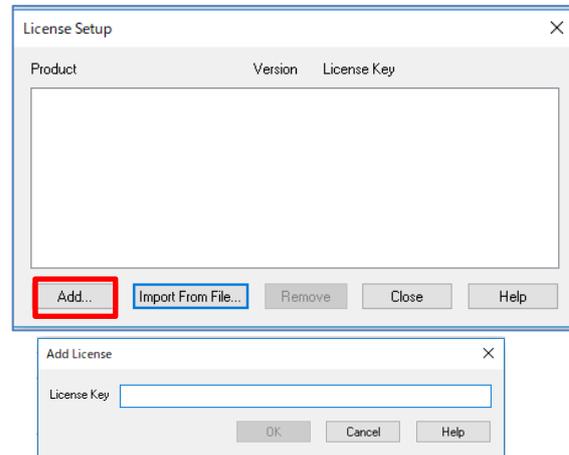
➤ ライセンスファイルを指定する：

ライセンスファイルを指定する形でライセンス情報を登録します。本手順で登録する場合は、[Import From File ...]ボタンをクリックすると表示されます。Import License File 画面で取り込むライセンスファイル（IGCKey.lic）を指定します。



- ▶ ライセンス情報を直接入力する：

ライセンスファイルをメモ帳などのテキストエディタで開くと確認できるライセンス文字列（369文字の文字列）を入力する形でライセンス情報を登録します。本手順で登録する場合は、[Add ...]ボタンをクリックすると表示される Add License 画面でライセンス文字列を「License Key」欄に直接入力します。



5. License Setup 画面に購入製品のライセンス情報が表示されたら、ライセンスのインポート処理は完了です。

管理画面のライセンス情報入力画面で登録済みのライセンス情報を再入力した場合、その登録処理はキャンセルされます。ライセンスの登録が完了すると、登録済みライセンスの一覧情報が表示されます。各ライセンスが使用するポートに重複が検出された場合や、非ネットワークライセンスが登録されるなどの問題が発生した際には、画面上にエラーメッセージ（英語）が表示されます。

ここまでの作業により、ライセンスマネージャにライセンスが登録されます。また、Brava Desktop をインストールしたクライアントマシンからアクセス可能になります。サーバーについては、通常作業はこれで完了ですが、ライセンスマネージャの追加設定を行う場合は次のセクションを参照してください。

●参考情報：

サービスインストール後、サービスを開始できない場合や動作が不安定になる場合は、以下の手順にしたがって本サービスのログオン設定を変更することで状況が改善されるかお試しください。

1. Windows の「管理ツール」から「サービス」をクリックし、サービス一覧を表示する

2. サービス名「Brava Desktop License Manager」のプロパティを表示し、「ログオン」タブをクリックする
3. 「ログオン」欄の選択肢を「ローカル システム アカウント」から「アカウント」に変更し、ライセンスマネージャインストール時のユーザーアカウント情報とパスワードを入力する



- (1) [OK]ボタンをクリックしてプロパティを閉じて、本サービスの再起動を一回実行する

ライセンスの管理

ライセンスマネージャ「Brava Desktop License Manager Administrator」の使用方法やライセンスマネージャ管理画面上でライセンスを管理する方法を説明します。

ライセンスの登録と削除

購入したライセンスの登録および削除をライセンスマネージャで行う場合は、管理画面メニューの[Tools]-[License Setup]を選択し、License Setup 画面を表示します。

ライセンス情報のインポート（登録処理）は、[Add...]ボタンをクリックしてライセンスキーの文字列を直接入力するか、[Import From File...]ボタンをクリックしてインポート対象のライセンスファイル(IGCKey.lic)を指定します。

また、登録したライセンス情報を削除する場合は、対象ライセンス情報を右クリックすると表示されるショートカットメニューから[Delete]ボタンをクリックします。警告画面が表示されますが、そ

のまま削除すると本操作を行った時点から、削除されたライセンスで接続が許可されていた Brava Desktop は使用できなくなります。

クライアント PC へのライセンス配布

ライセンスマネージャでライセンスのインポート処理が完了したら、同じライセンスファイルを使用してクライアント PC へ Brava Desktop を導入します。

Brava Desktop 16.4 のインストールプログラムは下記 URL からダウンロードできます。

- Brava Desktop 16.4 (EXE 形式)
<https://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BravaDesktop164JP.zip>
- Brava Desktop 16.4 (MSI 形式)
<https://www.bravaviewer.jp/support/dl/bd/BDT164MSIInstall.zip>

インストールする Brava Desktop のバージョンとライセンスファイルのバージョンは合わせるように注意してください。

※バージョン番号に関係なく、ライセンスファイル名称は常に「IGCKey.lic」です。

異なるバージョンのライセンスファイルとインストールプログラムを組み合わせ使用しないように注意してください。

EXE ファイルは、インストールウィザードを起動する形で端末 1 台ごとにインストールする場合に使用します。詳細な使用方法は、「Brava Desktop インストール手順」（下記 URL）を参照してください。

<https://www.bravaviewer.jp/support/bd/installexe.html>

MSI ファイルは、インストールウィザードを使用せずコマンドラインからインストールする場合に使用します。本インストールパッケージの使用方法をご説明します。

1. ZIP ファイルを解凍し、任意フォルダに配置します

例 [C:¥BDT164SilentMSIInstall]

2. 本ページの Step1 で入手した IGCKey.lic を解凍先フォルダに配置します
例 [C:¥BDT164SilentInstall¥IGCKey.lic]
3. 解凍先フォルダ直下の「BravaDesktop164Install.bat」を管理者権限で実行します例
[C:¥BDT164SilentInstall¥BravaDesktop164Install.bat]
4. デスクトップに「Brava! Desktop」アイコンが作成されたらインストール完了です
クライアント PC への Brava Desktop インストールを完了したら、Brava Desktop を起動
します。ネットワークライセンスの上限に達していない場合、Brava Desktop を起動したユ
ーザーアカウントがライセンスマネージャ側で認証されることにより、Brava Desktop を使
用できます。

本インストールパッケージに関する詳細については、「Brava Desktop ネットワークライセンス導
入ガイド」（下記 URL）の【参考情報：インストール台数が多い場合】もご参照ください。

https://www.bravaviewer.jp/support/bd/install_lm.html

ライセンスの認証方法

Brava Desktop からライセンスマネージャへの接続が成功して認証処理が完了すると、管理画面
上に Brava Desktop を使用している端末の Windows ユーザー名がライセンス使用者として表示され
ます。本ガイドでは、購入したネットワークライセンスで使用できるライセンス数を「シート」と表
し、1 ユーザーアカウントに対して Brava Desktop の使用が許可（認証）されることを「1 シート
が消費（占有）される」と表現します。シート数は、ユーザーアカウント単位で消費されます。

ネットワークライセンスを購入する際は、「シート固定ライセンス」と「同時使用ライセンス」を選
択します。シート固定ライセンスと同時使用ライセンスの間では、シートを消費する際の仕組みに違
いがあります。

ライセンス認証(シートの固定)は、Brava Desktop の起動時に自動的に毎回行われます。

- シート固定ライセンスの場合

Brava Desktop を起動してライセンスマネージャ側との通信に成功した場合、Windows ログイ
ンユーザー情報がライセンスマネージャ側のデータベースに登録されます。いったん登録された
ユーザーアカウント情報は管理画面上で削除しないかぎり 1 ユーザーにつき 1 シート分を占有
した状態で保持されます。登録された Windows ユーザーアカウントは、いつでも Brava

Desktop を使用できます。購入したライセンス数（シート数）の上限に占有されたシート数が超えると、それ以降の新しいユーザーは Brava Desktop を使用できなくなります。

シートの空きを増やすには、登録されたユーザーアカウント情報を管理画面から削除します。

- 同時使用ライセンスの場合

Brava Desktop を起動してライセンスマネージャ側との通信に成功した場合、Windows ログインユーザー情報がライセンスマネージャ側のデータベースに登録されます。Brava Desktop を終了すると、占有されたシートは解放されるので、別の Windows ユーザーがその 1 シート分を代わりに占有できます。

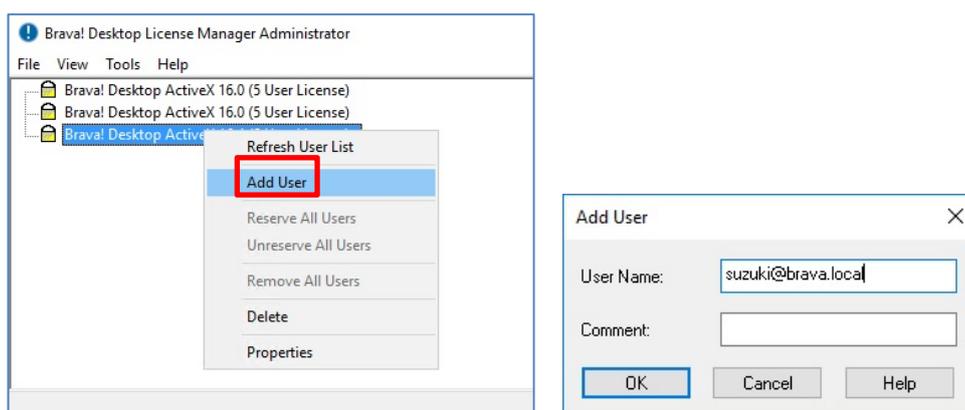
購入したライセンス数（シート数）の上限に達しないかぎり、複数ユーザーが Brava Desktop を使用できます。

また、管理画面上の操作により、任意ユーザーアカウントに対して 1 シートを占有できるように設定（シートの予約）を行なうことも可能です。

シートの予約方法について説明します。

本手順は、Brava Desktop を使用する特定のユーザー情報を認証前に手動で登録する方法です。

1. 管理画面上でライセンス一覧を表示する
2. 登録するライセンスの右クリックメニューから、[Add User]をクリックします。
3. ユーザー情報の入力ダイアログが表示されるので、シートを固定したいユーザーアカウント名を下記形式で入力します。
 - ・ ドメインユーザーを登録する場合、[ユーザー名@ドメイン名]形式で登録します
 - ・ ワークグループユーザーを登録する場合、[コンピュータ名¥ユーザー名]形式で登録します



登録されているシートのステータス（使用状況）を変更するには、対象シートの右クリックメニューから、下記オプションのいずれかを選択します。

- [Delete] (削除)
割り当てたシートを削除し、1 シート未使用の状態に戻します
- [Reserve] (予約)
同時使用ライセンスのみ使用できます。指定ユーザーに対して常に 1 シートを割り当てます
- [Unreserve] (予約開放)
同時使用ライセンスのみ使用できます。[Reserve]で割り当てられた 1 シートを開放します
- [Revoke] (使用停止)
選択したシートの使用を停止します

注意：[Reserve]および[Unreserve]は、同時使用ライセンスを使用している場合のみ選択可能です。シート固定ライセンスの場合、各メニューはグレイアウトして選択できません。

使用中のシートに対しては、ユーザー名の左側に緑の鍵のアイコンが表示されます。

使用されていないシートに対しては、ユーザー名の左側に青い鍵のアイコンが表示されます。

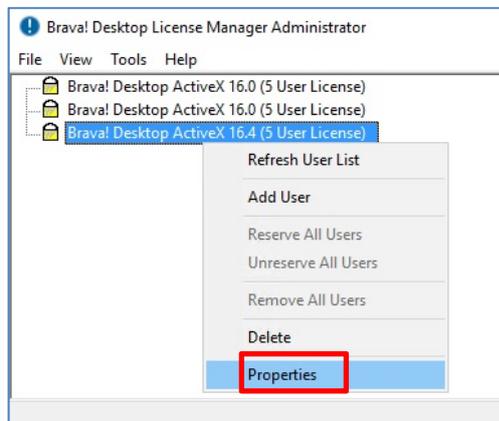
使用停止 (Revoke) されたシートに対しては、ユーザー名の左側に赤い鍵のアイコンが表示されます。

使用停止されたユーザーは、それ以降 Brava Desktop を使用することができません。

使用停止されたユーザーに対して、ライセンスの使用許可を与える場合は、対象ユーザー情報を削除してから、シートの固定処理を再登録する必要があります。

ライセンス使用状況の確認

ライセンスの右クリックメニューから [Properties] をクリックすると、選択したライセンスに関するプロパティ画面が開きます。プロパティ画面上では、累計使用時間やライセンス数やその時点で使用可能なシート数、Brava Desktop の使用状況など様々な統計情報を確認することができます。



ライセンスプロパティの項目 については、次ページを参照してください。

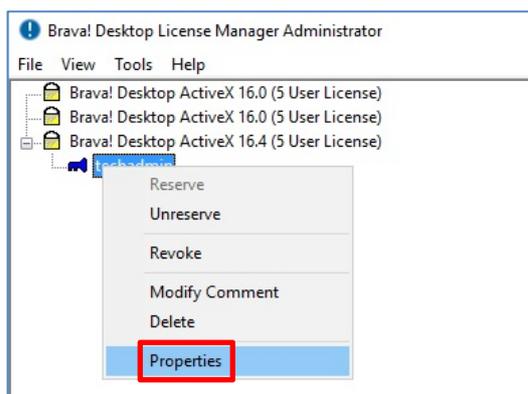
	<p>[License Properties]- ライセンス情報</p> <p>License Key-ライセンス文字列</p> <p>Customer ID -PIN Number</p> <p>Product Name - 購入ライセンスの製品名</p> <p>Host / IP Address - 登録したコンピュータ名/IP アドレス</p> <p>Port Number -ライセンスマネージャが使用するポート番号</p> <p>Expiration Date -ライセンスの有効期限</p> <p>[シート情報]</p> <p>Total Seats Licensed -ライセンスが所有する合計シート数</p> <p>Allocated Seats -固定済みシート数</p> <p>Available Seats -使用可能な残りシート数</p>
--	--

<p>License Properties</p> <p>Product Information</p> <p>License Key FKIM6-4QU8K-88CAI Customer ID 123456 Product Name Brava! Desktop Activ Host / IP Address 192.168.0.124 Port Number 8400 Expiration Date July 29, 2018</p> <p>User Information</p> <p>Total Seats Licensed 5 Allocated Seats 0 Available Seats 5 Seats In Use 0 Seats Not In Use 0 Reserved Users 0 Revoked Users 0</p> <p>Statistics</p> <p>License Install Date July 10, 2018 Total Usage Time 145 Hours Total Requests 56 Total Requests Denied 6</p>	<p>Seats In Use -現在使用中のシート数</p> <p>Seats No In Use -現在使用されていないシート数</p> <p>Reserved Users -予約したシート数</p> <p>Revoked Users -使用停止シート数</p> <p>[ライセンス統計情報]</p> <p>License Install Date - ライセンス登録日 (年月日)</p> <p>Total Usage Time -合計使用時間</p> <p>Total Requests - ライセンスに対するリクエスト数</p> <p>Total Request Denied -ライセンスに対するリクエスト拒否数</p>
---	--

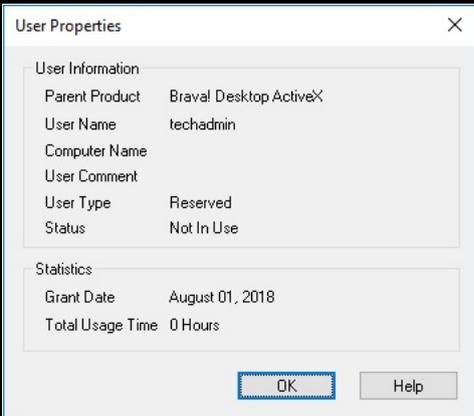
※プロパティ画面で確認できる情報をテキスト出力する機能は備わっていません。

シート使用状況の確認

登録されたシートの使用状況については、使用時間、割り当て日付などシート（ユーザー名）にカーソルを合わせて右クリックすると表示されるショートカットメニューから[Properties]をクリックすることで使用状況を確認できます。



ユーザープロパティ項目一覧

 A screenshot of the 'User Properties' dialog box. It has a title bar with 'User Properties' and a close button. The dialog is divided into two sections: 'User Information' and 'Statistics'. Under 'User Information', there are fields for 'Parent Product' (Brava! Desktop ActiveX), 'User Name' (techadmin), 'Computer Name', 'User Comment', 'User Type' (Reserved), and 'Status' (Not In Use). Under 'Statistics', there are fields for 'Grant Date' (August 01, 2018) and 'Total Usage Time' (0 Hours). At the bottom, there are 'OK' and 'Help' buttons.	<p>[User Properties]- ユーザー情報</p> <p>Parent Product - アプリケーション名</p> <p>User Name -ユーザーアカウント名</p> <p>Computer Name -クライアントホスト名</p> <p>User Comment -コメント</p> <p>User Type -シートの種別</p> <p>Status -使用状況</p> <p>[Statistics]-シート統計情報</p> <p>Grant Date- シート割り当て日 (年月日)</p> <p>Total Usage Time -合計使用時間</p>
--	---

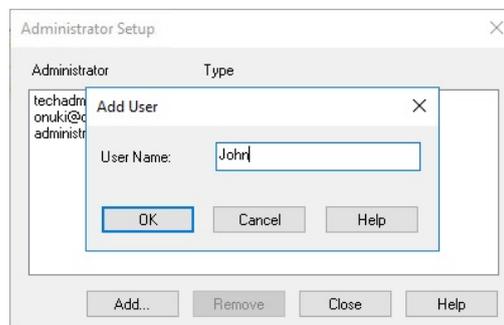
リモート管理

ライセンスマネージャのインストール先サーバー（ライセンスマネージャサーバー）とは別のマシン（リモート管理 PC）から管理画面のリモート操作を行うことができます。本リモート管理機能を使用する場合は、以下の順番で初期設定を行います。

- ・リモート管理ユーザー情報の登録（ライセンスマネージャサーバーでの設定）
- ・ライセンスマネージャへのリモート接続（リモート管理 PC での設定）

リモート管理ユーザー情報の登録

はじめに、ライセンスマネージャサーバーへのリモート接続を許可するユーザーアカウント情報を追加します。ユーザーアカウント情報の登録処理は、管理画面メニューの[Tools] - [Administrator Setup]から行います。（下画面）



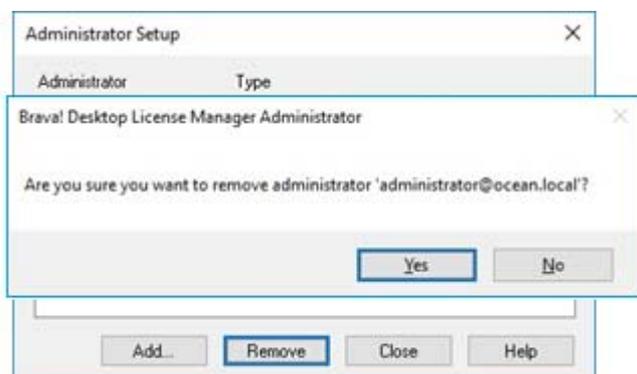
Administrator Setup 画面で[Add...]ボタンをクリックし、許可するユーザーアカウントを登録します。

例 1) Windows ユーザー（ドメイン名 : BD.local）からのリモート接続を許可する場合
User Name: [BDUser@BD.local] と入力する

例 2) ワークグループユーザーからのリモート接続を許可する場合
User Name: [コンピュータ名¥BDUesr] と入力する

ユーザーアカウントを追加すると、一覧画面に追加したユーザーアカウント情報およびタイプ（Type: Remote）が追加表示されます。

リモート管理ユーザーは本画面上から削除することが可能ですが、ローカルユーザー（Type: Local）は削除できません。リモート管理ユーザー名を削除するには、該当ユーザー名を選択してから、[Remove]ボタンをクリックします。続けて、削除前の確認ダイアログが表示されるので、[Yes]ボタンをクリックします。



リモート管理 PC では、接続先ライセンスマネージャのほぼ全ての機能を使用することができますが、ライセンス管理サービスの開始・停止操作は、ライセンス管理サービスがインストールされたマシン上の管理画面からのみ実行できます。また、ライセンス管理サービスに対して接続できるのは 1 ユーザーのみです。同時に複数のリモート管理 PC から管理用サービス（管理画面）へ接続することはできません。

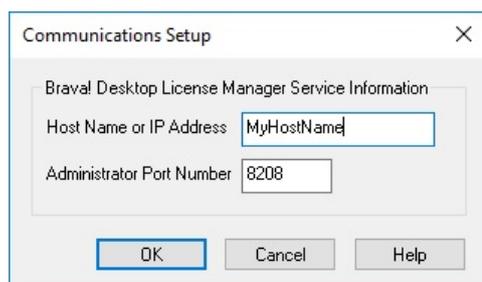
ライセンス管理サービスにファイアウォールを経由して接続する場合は、ライセンス管理サービスが使用するポート(既定値は TCP ポート番号 8208)に対するアクセス許可を行う必要があります。特定ポートへのアクセス許可の詳細に関しては、ご使用のファイアウォールソフトウェアまたはハードウェアの説明書を参照してください。

ライセンスマネージャへのリモート接続

リモート管理 PC では、ライセンスマネージャサーバーのセットアップ時と同じようにプログラムやライセンスマネージャ用サービスのインストールなどライセンス情報のインポート以外の初期設定を行う必要があります。その後で、リモート管理対象（接続先）にするライセンスマネージャサーバーの情報を設定します。設定手順は、以下の通りです。

1. リモート管理 PC にライセンスマネージャをインストールし、ライセンス情報の登録処理以外の初期設定を行います。インストール手順は、本ガイドの「ライセンスマネージャの初期設定」を参照してください。

2. 管理画面を起動し、管理画面メニューの[Tools] - [Communication Setup...]をクリックします。
3. Communication Setup 画面が表示されたら、接続先となるライセンスマネージャサーバー情報を「Host Name or IP Address」欄と「Administrator Port Number」欄に入力します。
「Host Name or IP Address」欄については、ライセンスマネージャサーバーのホスト名または IPv4 アドレスを入力します。「Administrator Port Number」欄については、ライセンス管理サービス用の TCP ポート番号（8208）を入力して[OK]ボタンをクリックします。



注意事項：

ローカル（リモート管理 PC 上）にライセンスマネージャサービスがインストールされている場合、[Communications Setup]ではそれとは別のポートを使用してください。ローカルで設定したライセンスが持つポートを使用することはできません。

接続対象のリモート管理サービスを変更する場合には、以下の手順が必要です。

- (1) 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Disconnect From Service]をクリックします
※[Disconnect From Service]がグレーアウトしている場合は次の処理に移ります
- (2) 管理画面メニューの[Tools]-[Communication Setup]から新たなリモート接続先のマシン情報を入力します
- (3) 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Connect To Service]をクリックし、サービスに再接続します

IPV4/IPV6 アドレス対応

複数の IP アドレスを持つリモート管理 PC 上では、ライセンスマネージャサービスは一番目に認識するアドレスを使用します。複数のネットワークインターフェースを持つライセンスマネージャサーバーで特定の IP アドレスのみを認識させたい場合、以下の設定を行ってください。

1. Brava Desktop License Manager サービスを停止します。

2. Brava Desktop License Manager インストールフォルダ直下にある LMService.ini をテキストエディタで開き、[Options]セクション内の末尾に下記の一行を追記して、上書き保存します。

AdministrationHostName=<IPv4 Address> or <IPv6 Address> を記述する

例) AdministrationHostName=192.168.1.111

3. Brava Desktop License Manager サービスを開始します。

Brava Desktop がインストールされているクライアント PC は DNS で設定されているホスト名/IP アドレスに一致するライセンスマネージャサーバーにアクセスしようとします。

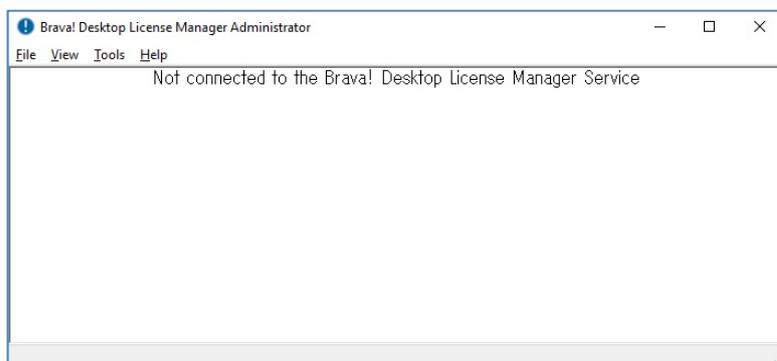
AdministrationHostName では DNS で設定されているアドレスと一致する情報を設定してください。

※日本語環境では、IPv6 Address 環境での動作検証を実施していません。本設定を行う際は IPv4 Address (例:192.168.1.111) を識別用情報として登録してください。

ライセンスマネージャのアンインストール

ライセンスマネージャのアンインストール手順を説明します。

1. 管理画面を起動します
2. 管理画面メニューの[Tools]-[Service]-[Disconnect From Service]をクリックします
3. 管理画面に下記メッセージが表示されていることを確認してから、[Tools]- [Service]- [Uninstall Service]をクリックします



4. Windows の コントロールパネルから「プログラムと機能」画面を表示します
[コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール]から表示できます
5. プログラム一覧で「Brava Desktop License Manager」をダブルクリックします

6. アンインストール確認画面（下画面）が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします



7. アンインストール処理が開始されます。処理完了ダイアログが表示されたら、画面を閉じます